

ルカによる福音書 2 章 8-14 節

クリスマスの喜び

2:8 さて、この土地に、羊飼いたちが、野宿で夜番をしながら羊の群れを見守っていた。

2:9 すると、主の使いが彼らのところに来て、主の栄光が回りを照らしたので、彼らはひどく恐れた。 2:10 御使いは彼らに言った。「恐れることはありません。今、私はこの民全体のためのすばらしい喜びを知らせに来たのです。 2:11 きょうダビデの町で、あなたがたのために、救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。 2:12 あなたがたは、布にくるまって飼葉おけに寝ておられるみどりごを見つめます。これが、あなたがたのためのしるしです。」 2:13 すると、たちまち、その御使いといっしょに、多くの天の軍勢が現れて、神を賛美して言った。 2:14 「いと高き所に、栄光が、神にあるように。地の上に、平和が、御心にかなう人々にあるように。」

はじめに

神は、誰かが恐れの中で生きるようにしむけられることはありません。み使いたちが現れたことで、羊飼いたちは非常に恐れましたが、その恐れはすぐに喜びと平安に変わりました。神のメッセージを聞いたからです。

10 節には「恐れることはありません。今、私はこの民全体のためのすばらしい喜びを知らせに来たのです。」とあります。イエスの弟子たちは、多くの超自然的なわざを目にし、恐れを抱くこともありました。そんな時には、イエスはいつも「恐れることはありません」と言われました。そして、彼らの心と思いに平安を与えられました。

心と思いに平安を与えない超自然的な体験は、神から来たものではないと確信できます。私たちの心と思いがいつも平安で満たされているのが神の望まれることだからです。

私は、羊飼いたちがどのように感じたのかを少し想像することができます。

(個人的体験の話。ボベディ隕石の話)

1969年4月25日のお話です。私は当時11歳でした。夜の暗闇の中、私は素行の悪い友達と一緒に、家の近くにあった海岸沿いの公園にある公衆トイレの外壁にスプレー缶で落書きをしていました。

すると全体が急に非常に明るくなりました。昼間よりももっと明るくなったのです。私は怖しくなりました。その当時はちょうど、北アイルランドでは政治的衝突や暴動が始まった時期で、警察がランドローバーという軍隊のジープのような四輪駆動の上に大きなスポットライトをつけて見回りをしていたからです。

私は、私が落書きをしているところに警察が大きなスポットライトを照らしたのだと思ったのです。すると空中で大きな爆発音が聞こえ、見上げると大きな火の玉が空を流れているのが見えました。それは、ボブディ隕石として知られる隕石でした。

それが警察ではないと分かると私は非常に安心し、またそのような珍しい体験ができたことに大興奮しました。ですが、両親に私がどこにいて何をしていたかがバレてしまいますから、その時に誰にもそのことを話すことができませんでした。バレてしまったら困ったことになったでしょう。

今日は、み使いたちがまず羊飼いたちに知らせたクリスマスの本当の喜びについてお話したいと思います。

1. 受け入れられ、赦される喜び (10 節-11 節)

「今、私はこの民全体のためのすばらしい喜びを知らせに来たのです。」

「この方こそ主キリストです。」

イエスだけが、ただ一人私たちの罪を赦し、神に受け入れられるようにとりなしてくださる方です。イエスは、心と思いに本当の平安を与えることで、イエスを自分の個人的な救い主と信じ、受け入れる者には誰でも、すべての罪が赦され、神に受け入れられることを確信させてくださいます。

この平安は、私たちがこの世では決して経験したことの無い、この世には無い平安です。この世のものは、私たちに真の平安を与えることはできないからです。

ヨハネ 6 : 37 「6:37 父がわたしにお与えになる者はみな、わたしのところに来ます。そしてわたしのところに来る者を、わたしは決して捨てません。」

2. 神と個人的な関係を持ち交わる喜び (詩編 16 : 11)

「16:11 あなたは私に、いのちの道を知らせてくださいます。あなたの御前には喜びが満ち、あなたの右には、楽しみがとこしえにあります。」

神のご臨在を体験するために天に行くのを待つ必要はありません。古い讚美歌に「罪とが消されしわが身はいづくにありとも みくにのここちす。。。小屋にも宮にも日々主と住まえばみくにのここちす (「みくにのここちす聖歌 467 番」)」とあるように。

私はこの体験を刑務所の中でさえ、経験することができました。この経験で私の人生と価値観は完全に変えられたのです。

3. 永遠の命の喜び (ルカ 10 : 20)

聖書で「天にあなたの名が記されている」と表現される時、その意味は、永遠の命を持ち、天へ行くことが保証されているということです。

天にある、イエスの信者の名前が記されている書は、小羊のいのちの書と呼ばれています。聖書の中で、ご自身を私たちの罪の犠牲とし、私たちの身代わりとなってすべての罰を担ってくださったイエスもまた、世の罪を取り除く神の小羊と呼ばれています。

イエスを救い主として信じる者の名前だけが、小羊の書に記されます。本当のクリスマスの喜びは、ただ 1 日や一時期だけのものではありません。